

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科
保健	1	1	必修	全科

1 科目の目標

- 1 健康の保持増進のためには自分自身の生活行動を選び実践することや、そのための必要な環境を改善する努力が大切なことを理解する。
- 2 我が国の保健医療制度について理解し、生涯を通じた健康課題に対応できる能力を身につける。
- 3 健康と環境や食品、労働についての関わりを理解し適切な判断力や対応力を身につける。

2 教科書

高等学校保健体育(第一学習社)

3 科目全体の評価の観点と趣旨

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・健康を維持するために必要なことについて関心をもっているか。 ・仲間と協力して資料を集めたり、積極的に意見交換しているか。 	授業場面での参加の仕方 や意欲・態度の観察 ワークシート
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・自分のこれまでの体験や資料などをもとに、学習する課題の設定や解決の方法を考え判断しているか。 	ワークシート 提出物 発表
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・個人生活や社会生活の健康や安全について、課題解決に役立つ知識を身につけているか。 ・適切な生活行動を選び、行動することや環境を改善していく努力が大切であることを理解しているか。 	定期考査 ワークシート記入状況 提出物 発表

4 評価の方法

体育の評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「知識・理解」の3観点の内容をもとに、各領域(種目)ごとに評価基準をつくり日頃の授業の中で上の表にまとめた方法で評価を行い、「成績」資料とします。

5 学習計画(1年)

学期	月	単元	項目・考査等	学習目標	学習内容	留意点	
1 学期	4	現 代 社 会 と 健 康	オリエンテーション				
			○国民の健康水準の向上と変化する健康課題	○健康についての考え方や、健康を成り立たせている要因について理解し、健康水準の変化や背景、現在の健康問題について学ぶ。	○さまざまな健康の考え方やわが国の健康水準や健康問題の変化を学ぶ。	○健康についての学び方を考える。 ○ディベート	
			○健康の保持増進とヘルスプロモーション				
	5		○感染症の予防	○生活習慣病の種類と要因についてや、一次予防、二次予防について説明できる。	○生活習慣と関連の深い病気や予防方法を学ぶ。	○適切な生活習慣を考える。	
			○性感染症とその予防	○がんについての種類や原因について理解し、予防法、治療法、社会的な対策について説明できる。	○がんについての種類や原因について学び、予防法、治療法、社会的な対策について調べる。	○がんの回復においては、様々な治療法があること、患者や周囲の人々の生活の質を保つことや緩和ケアが重要であることについて適宜触れるようにする。	
			○生活習慣病の予防				
			○食事と健康	○生活習慣病予防のための生活実践や飲酒喫煙に対する適切な意志決定ができる。	○健康に良い運動・食事・休養・睡眠などの基本を学ぶ。	○適切な生活習慣や喫煙の是非を考える。	
	6		○健康と運動・休養・睡眠				
			○がんの発生と予防				
			1学期期末考査				
			7	○喫煙と健康		○喫煙の健康への影響や対策を話し合う。	○自分の体質を知る。
			○飲酒と健康		○飲酒の健康への影響や対策を実習する。(受動喫煙やアルコール依存症)		
	8	夏期休業					
2 学期	9	○薬物乱用とその防止	○薬物乱用に対する正しい理解と行動選択ができる。	○薬物乱用の影響と社会問題を考える。	○薬物に手を出さないために。 ロールプレイング		
		○脳と神経の働き	○精神疾患について理解し、予防や早期発見、治療方法や回復に向けての社会環境について説明できる。	○現代社会における精神保健の課題を学ぶ。 ○精神疾患の適切な治療や回復に向けての社会環境について学ぶ。	○課題学習 ○意見交換		
	10	○欲求不満と適応機制					
	11	○心の健康と精神疾患					
		2学期期末考査					
	12	○精神疾患の予防と回復のために	○感染症とは何かを理解し、新興感染症や再興感染症の発生や流行が見られることを理解で	○様々な感染症の潜伏期間や感染力について学ぶ。 ○感染症予防対策3原則や感染症への個人と社会の対策に	○感染症のリスクを軽減し予防するには、社会的な対策と個人の取組があることを考える。		

○交通事故と安全の確保	きる。	ついて学ぶ。	
○安全・安心な社会づくり	○性感染症・エイズについて学び、その予防と対策について、個人と社会に分けて学ぶ。	○エイズの課題と対策を調べ発表する。	○性感染症と予防法を考える。
冬季休業			

3 学 期	1	○適切な応急手当の手順	○健康に関する意思決定・行動選択の工夫についてや、ヘルスプロモーションの考え方にもとづく環境づくりの特徴について学ぶ。	○保健活動や医療制度、健康の保持増進の方法を調べる。	○ディベート ○活動や制度を調べる。
		○心肺蘇生法の実践			
		○日常的な応急手当	○交通安全の知識や責任を理解できる。	○交通事故の現状と交通社会の一員としての自覚と責任を学ぶ。	○交通事故の現状と責任を調べる。
	2	○安全な社会の形成			
		○交通における安全			
		3学期期末考査			
		○応急手当の意義とその基本	○生命の尊厳について学び、救急法・心肺蘇生法を通じて正しい処置ができる	○心肺蘇生法や日常的な応急手当の方法を実習し正確な処置ができる	○実習を通して正しい処置方法を学ぶ
	3	○日常的な応急手当			
		○心肺蘇生法	○心肺蘇生法の各原理と各手順のポイントを説明できる	○胸骨圧迫の方法 人工呼吸の方法 AEDの使用方法	○対象者の状態や年齢によって適切な方法を選択できる。

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科
保健	1	2	必修	全科

1 科目の目標

1健康の保持増進のためには自分自身の生活行動を選び実践することや、そのための必要な環境を改善する努力が大切なことを理解する。

2我が国の保健医療制度について理解し、生涯を通じた健康課題に対応できる能力を身につける。

3健康と環境や食品、労働についての関わりを理解し適切な判断力や対応力を身につける。

2 教科書

最新保健体育(大修館書店)

3 科目全体の評価の観点と趣旨

関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 健康を維持するために必要なことについて関心をもっているか。 仲間と協力して資料を集めたり、積極的に意見交換しているか。 	授業場面での参加の仕方や意欲・態度の観察 ワークシート
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 自分のこれまでの体験や資料などをもとに、学習する課題の設定や解決の方法を考え判断しているか。 	ワークシート 提出物 発表
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 個人生活や社会生活の健康や安全について、課題解決に役立つ知識を身につけているか。 適切な生活行動を選び、行動することや環境を改善していく努力が大切であることを理解しているか。 	定期考査 ワークシート記入状況 提出物 発表

4 評価の方法

体育の評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「知識・理解」の3観点の内容をもとに、各領域(種目)ごとに評価基準をつくり日頃の授業の中で上の表にまとめた方法で評価を行い、「成績」資料とします。

5 学習計画(2年)

学期	月	単元	項目・考査等	学習目標	学習内容	留意点
1 学期	4	生涯を通じる健康	オリエンテーション			○健康についての学び方を考える。
	5		○ライフステージと健康	○思春期の行動面・心理面の特徴、性意識の男女差を説明できるようになる。	○思春期における体の発達、行動面・心理面の特徴を学ぶ ○性的欲求のあらわれ方の違い、性行動の選択について学ぶ	
			○思春期と健康			
			○性意識と性行動の選択			
	6		○妊娠・出産と健康	○受精・妊娠・出産の過程を知り、避妊法を選択する際の留意点および健康な結婚生活をいとなむための留意点を知る。	○心身の発達の観点から家族の健康づくり	
			○避妊法と人口妊娠中絶			
			○結婚生活と健康			
	○加齢にともなう心身の変化と、中高年期を健やかに過ごすための留意点を知る。 高齢者の健康に関する現状と、健康課題について知る					
	1学期期末考査					
	8		夏期休業			
2 学	9	○中高年期と健康	○医薬品の正しい使用法や安全性を守る取り組みについて説明できる	○医薬品は自然治癒力を助けるものと学ぶ ○副作用について学ぶ	○薬害について考える	
	10	○働くことと健康	○保健行政の役割としくみ、および医療保険のしくみを知る。 ○医療機関の選び方について知る。	○医療費が支払われるしくみを学ぶ ○保健サービスの内容とその活用法について学ぶ	○町の保健サービスを調べる。	
		○労働災害と健康				
		○健康的な職業生活		○受診場面を想定して、医療機関および医師から必要な情報をひきだすための質問事項について学ぶ	○いままでの体験をふりかえる。	

期	11	社会生活と健康	○大気汚染と健康	○大気汚染、水質汚濁、土壌汚染の健康への影響を知る。 ○環境汚染の防止・改善への対策をあげて、説明できるようになる。	○健康に関連する環境・食品の問題や、働くことと健康との関係について学ぶ	○四大公害について考える。
			○水質汚濁、土壌汚染と健康			
	12		○環境と健康にかかわる対策			
			二学期期末考査			
			○食品の安全性	○ごみ処理の過程について知る。	○ごみ・し尿や上下水道の整備について、問題点と対策について学ぶ。	○分別収集の方法を調べる。
		冬季休業				
3学期	1	社会生活と健康	○食品衛生にかかわる活動	○食品の衛生管理のための、行政および製造・生産者の対策例と私たち自身ができる対策例について知る。	○食品の安全性を確保するために、私たち自身ができる対策を学ぶ。	○活動の例を調べる。
			○保健サービスとその活用	○労働災害の防止対策と、職場における健康管理の必要性について知る。	○働くことと健康が相互に影響することについて学ぶ。	○よりよい余暇の過ごし方を考える。
	2		○医療サービスとその活用			
	3		三学期期末考査			